

日本の気候区分.2

名前

解答

解答

問1 内陸性の気候について、つぎの()で正しいものに○をつけよ。

内陸性の気候の特徴は、昼と夜や夏と冬の気温の差が(大きい・小さい) ことにある。

季節風の影響が(大きく・少ない)、夏と冬のどちらも雨量が(多い・少ない)。

問2 瀬戸内の気候について、つぎの()で正しいものに○をつけよ。

瀬戸内の気候は、一年を通して雨が(多く・少なく)、(晴天・雨天)の日が多い。これは瀬戸内が中国山地と四国山地に囲まれていることで(季節風・偏西風)が遮られるためである。

夏は朝と夕に、海と陸の風向きが変わるため、風が(弱くなる・止まる) 朝なぎと夕なぎが起こる。

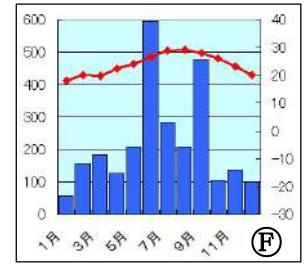
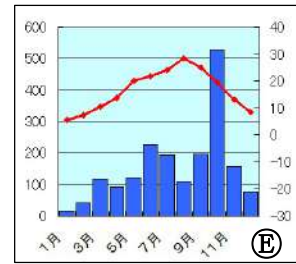
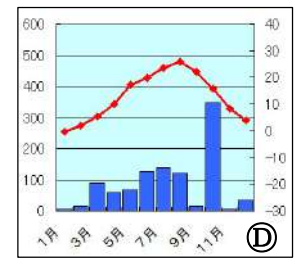
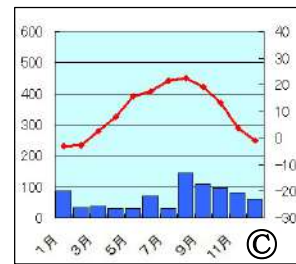
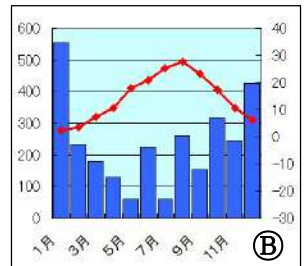
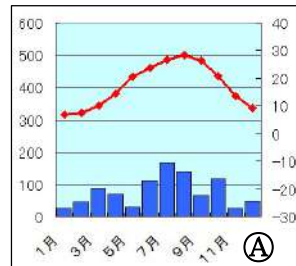
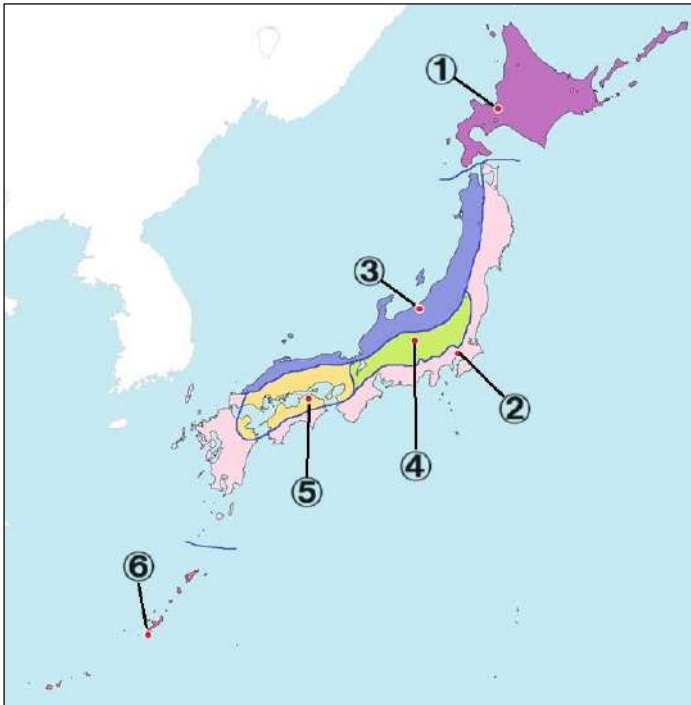
問3 南西諸島の気候について、つぎの()で正しいものに○をつけよ。

南西諸島の気候は、一年を通して気温が(高く・低く)、雨が(多い・少ない)。

梅雨の被害を(受けにくく・受けやすく)、台風被害を(受けにくい・受けやすい)。

降水量は特に(春・夏・秋・冬)に多い。

問4 次の図は日本の6つの気候区分について表したものである。①～⑥のグラフをそれぞれA～Fから選べ。



- ① C (北海道札幌市) ② E (東京都)
- ③ B (新潟県高田市) ④ D (長野県松本市)
- ⑤ A (香川県高松市) ⑥ F (沖縄県那覇市)

折れ線グラフ:気温 棒グラフ:降水量 (2019年グラフ)

